

Watching Carefully

取材・文/竹中 聡(本誌) 撮影/畑中 勝如

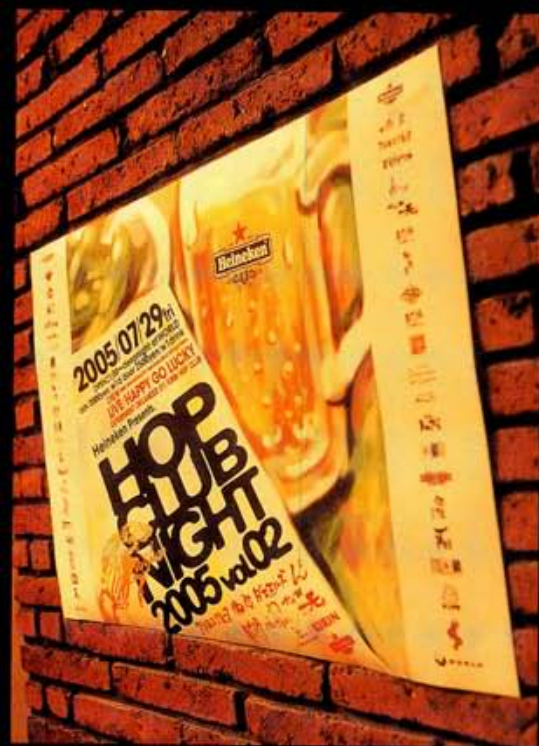
己を滅した研鑽と努力の果てに、
我ら、京都に新たな食を伝える者なり。



Heineken Presents ホップクラブナイト2005 @WORLD [世界]

本誌で紹介しただけでも、「共通食材を使った新メニューの全店試食会」「醤油や漬物メーカーへの勉強会」「禅寺や老舗旅館、同業他社の講話」…と、企業・店舗を越えての研鑽は枚挙に暇がないわけです。誰が?と申しますと「まんざら亭」(代表・木下博史さん)、「ウシノホネ」(代表・嶋本洋二さん)、「厨厨」(代表・高橋弘さん)、「ん」(代表・林修悟さん)、「株式会社元廣」(代表・元廣剛巳さん)、「迦陵」(代表・堀部一功さん)、「MAGUM」(代表・今津光浩さん)、「ダニエルズ」(代表・赤松佐知子さん)という各グループ合わせて十店、名付けて「HOP CLUB」。仲を取り持ったのが「キリンビール株式会社 京滋支社」の木村隆さんというこの有志団体は、月例会合を続けていて、今年は揃って香港へ2泊3日の食材巡りツアー(しかも反日運動真っ盛り折り!)も敢行しています。そのお陰様をもちまして、我々の外食は高レベルを維持できているわけです。

で、時にこうして同クラブ主催のイベント行うわけですが、このイベントを通して、そんな彼らの日頃の努力が見える訳ではございません。ですので本誌が代わってここにご報告申し上げる次第。「純血を貫く」と、長らく上記の8~10グループで構成してきた同会も、今年は遂に「発展的に」会員を増やすことになるそうで、さらに我々の外食をより豊かにしてもらえそうなのです。その「前夜祭」と呼ぶには少々早いですけれども、「こういう人たちの人知れぬ努力が、私たちの舌に跳ね返ってくるのね」と感じる機会が増えそうだということで、京都の外食産業の活況は、揺るぎないなあ、と確認できた一夜でしたとさ。





Asahi Group



Heineken

京都 ん



仕事場の同僚組。左からフクムラヨウコさん、コサヤアキコさん、マスタグユミさん。久々のクラブで「もっと人集める!」「若い男集めろ!」「もっと(テンション)上げろ!」。うわあうわあうわあ...、馬力ありますなあ、ゴモットモ

オクラさん、ヌーマン、みっこちゃん、さっこちゃん、アヤノ、おかよ、みゆき、あい、はまとめて入社1年目、インナーウェアメーカー「WING」インナーウェア企画営業部デザイン課の皆さん。多数につき名前は順不同。真ん中はHOP CLUB会長木下さん。アナタはどうして女子の団体と見ると真ん中に入っちゃうんでしょう?

いつの間にかフォトグラファーと飲み友達になった(ってコラコラコラ)木塚町「1G」のタキさん(左)とタクローさん。根アかな男子ふたりはキョン2の「学園天国」がフロアから聞こえてきた瞬間誰か浮きました



「まんざら」のグループ全体を支える本社の秘書のおふたり、多田さん(左)と兼松さん。「いまだに(木下社長を)『マスター』って呼んでますね。社長って呼ばれるのが嬉しいみたい(笑)。モリャー生現役の気概ですな



広告代理店にご勤務の某氏。顔×しかも名前×ですがつい撮ってしまいました。だって、あまりに立派なラミッぶりなんですもの。なのにスツールに座るその背中の哀愁は何だ? 寂しうな後ろ姿は何だ?



交際の北ノ坊あつとさんとメリッサさん。あつとサンは本誌とまっご同業で、ご職業はフォトグラファー。撮られる方の気分はいかがですか? っつーか撮られ方をご存じですか



イベントのstart-upは女子5名による「Girls A capella Group HAPPY GO LUCKY」。R&Bのアカペラで、全女子で、アフロで、しかも黒塗りするのは珍しいですわ。「ジャクソン5」などを披露でした

左から吉村さんご夫妻、面原さん、元廣さんご夫妻。みなさま人呼んで「下京区納税協会」の方々。ん!?